

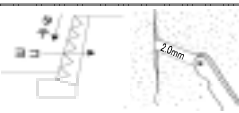

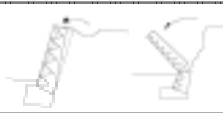

地盤等調査表

整理番号 _____




本調査表は、< 建築物の応急危険度判定調査表 > において次のいずれかに該当する場合のみ使用します。
 「1-4.その他」において「地盤の被害により一見して危険と判断される場合」に該当する場合
 「2- 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険」において「2.不明確」又は「3.危険あり」に該当する場合

1 擁壁の状況

0. 擁壁無し 1. 練積擁壁 2. コンクリート擁壁
 ア 擁壁の高さ _____ m イ 建物との距離 _____ m



	被害無し・小被害	中・大被害
クラック幅 	1. 2 mm未満	2. 2 mm以上
不同沈下 	1. 無し又は軽微	2. 著しい沈下・全体の沈下
傾斜・倒壊 	1. 無し又は軽微	2. 前面地盤に対し 垂直以上の前傾・倒壊
練積擁壁の崩壊・崩落 	1. 無し又は軽微なずれ	2. 部分崩壊又は全崩壊

2 宅盤の状況

	被害無し・小被害	中・大被害
クラック幅 	1. 3 cm以下、かつ単数	2. 3 cm以上又は複数
沈下 	1. 20 cm未満、 かつ面積の10%未満	2. 20 cm以上、 又は面積の10%以上
隆起 	1. 10 cm未満、 かつ面積の10%未満	2. 10 cm以上、 又は面積の10%以上

3 法面の状況

0. 法面無し 1. 法面有り

	被害無し・小被害	中・大被害
クラック幅 	1. 3 cm以下、かつ単数	2. 3 cm以上又は複数
滑落・崩壊 	1. 部分的な滑り、小崩壊	2. 表層の滑り、又は中部までの崩壊、 全面的な滑り崩壊

4 コメント 地盤等の状況について、特記すべき点があれば記入する

擁壁、法面がそれぞれ複数種類ある場合は、もっとも被害の大きいものについて記載してください。